

# 屋内型バケツ容器

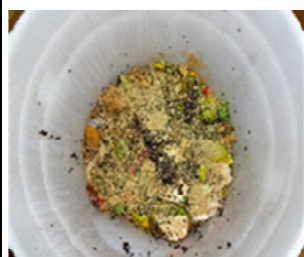
《設置場所》 台所、ベランダ、軒下など直射日光の当たらない場所

《必要なもの》 発酵資材（ぼかし）（ホームセンター等で販売しています）



① 生ごみを容器に入れます。

**ポイント！** 水気を切って、新鮮なものを細かく刻んで入れましょう。



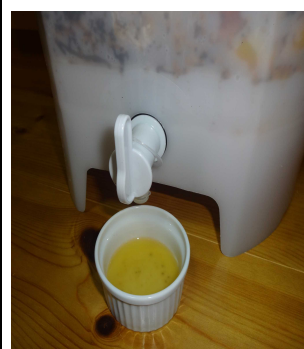
② 生ごみ500gに対し、大さじ3～5杯の発酵資材（ぼかし）を均一にふりかけます。

**ポイント！** 夏場は、発酵資材（ぼかし）を多めにふりかけましょう。  
空気を嫌うので混ぜないこと！



③ 容器に空気が入らないようにふたをしっかりと閉めます。

**ポイント！** 上からしっかり空気を抜きましょう。  
空気に触れないように、ラップ等でふたをするのもおすすめです。



④ 発酵が進むとバケツの底に液肥が溜まってくるので、こまめに抜きます。液肥は草木の水やり等に使えます。液肥は、保存せずすぐに使いましょう。

**家庭菜園**・・・500～1000倍に薄めて散布する。  
**消臭対策**・・・100倍に薄めトイレや排水溝で使用する。



⑤ ①～④を繰り返す、一杯になったら夏場は1週間程、冬場は2週間程置いて熟成させます。甘酸っぱい臭いがしてきたらできあがりです。畑やプランターに返し5倍ほどの土とよく混ぜ、1～3か月置いてから使います。

※生ごみっぽさが残っていると猫やカラスが掘ることがあります。しっかり熟成させてから埋めましょう。